

競技注意事項

1. この大会に適用する規則は、2022年度日本陸上競技連盟競技規則である。
2. 練習場について
練習は本競技場と補助競技場にて行う。ただし9：40以降補助競技場を使用のこと。(室内の練習場は雨天時のみ)

本競技場の使用について

- ジョギングはレーンの外側を使用すること。
- レーンの使用は下記に従うこと。
 - ・1, 2レーン→ジョギングを除く長距離の周回練習
 - ・1～3コーナーの3, 4, 5, 6, 7レーン→流し(4コーナーは使用禁止)
 - ・2コーナーの8, 9レーン→リレーのバトン練習(4コーナーは使用禁止)
 - ・3コーナーの8, 9レーン→リレーのバトン練習(4コーナーは使用禁止)
 - ・4コーナー5, 6, 7, 8, 9レーン→スタートの練習

3. 競技者の招集について
 - ①トラック競技開始時間の30分前受付開始、20分前集合、15分前完了。
 - ②フィールド競技開始時間の40分前受付開始、30分前完了、25分前完了。
 - ③棄権する選手は招集完了時刻までに競技者係に申し出ること。
4. 招集方法について
 - ①招集場所に設置された所定の用紙の自己アスリートビブス番号を○でかこみ、第一コールを終えたこととする。招集完了時間の5分前に招集所で待機する。(○印は係で用意してある赤鉛筆使用のこと)
 - ②招集完了時間に競技者係はアスリートビブス番号及び結着状態を確認して最終コールを完了する。完了後競技者係の指示、誘導に従う。
出場者以外の競技場所への立入及び代人による招集は認めない。但し、事情があるときの届出のための代人の立入は認める。
 - ③招集におくれたものは棄権とみなして出場を認めない。
5. 注意事項
 - ①選手の変更は認めない。
 - ②リレーのオーダーは予選、決勝とも競技開始時刻の75分前に競技者係主任に提出すること。
用紙は監督会議で配布する。リレーのオーダーを競技者係に申告後、負傷等により交代を必要する場合が発生した際は、招集開始前までに医務員の確認のもとに選手の交代ができる。但し、オーダー順の変更は許されない。
 - ③アスリートビブスは通年ナンバーカードを折り曲げずに胸背につける。ただし、跳躍種目の場合は、胸または背だけでよい。アスリートビブスのない競技者は出場を認めない。
 - ④競技用具はすべて競技場備品を使用する。
 - ⑤抗議について
文書(用紙は総務席に用意する)に10,000円を預託して審判長に提出する。正式通告後30分以内に申し出がなければ問題は起きなかったものと見做される。
 - ⑥本部前の通行は禁止する。
 - ⑦400mまでのトラック種目については、フィニッシュ後も割り当てられたレーンを走って減速すること。
 - ⑧競技中、またはフィニッシュ時においては、ガッツポーズ等の行為を慎むこと。(状況によっては、走路妨害とされることもある)
 - ⑨スパイクシューズのピンの長さは、全天候舗装であるため、ピンの長さは9mm以内とする。ただし、スパイクピンの先端の直径は4mm以内でなければならない。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。
 - ⑩トラック競技において、1回目から不正スタートした競技者は失格とする。
ただし、小学生は同一競技者が2回の不正スタートで失格とする。
 - ⑪スタート合図は電子音とする。
 - ⑫本競技会において、競技規則第162条5については適用しない。スタート時における不適切行為(162条a, b, c)発生時は、責任ある競技者に対し注意を与える。それでもなお、不適切行為に該当する行為により注意を受けた競技者については、当該種目において失格とすることがある。
 - ⑬フィールド競技に関しては、テクニカルルール(TR)5.5については適用しない。トラック種目について靴底の厚さは、800m未満の種目は上限20mm、800m以上の種目は上限25mmである。
 - ⑭走幅跳の試技は3回とする。